

鉄道・運輸機構は皆様のご理解と、ご協力のもとに、工事を進めてまいります。

地元説明会

最初に、関係市町村や地区ごとに事業の説明会を開いて、測量の立入りについてのご協力を御願い致します。



中心測量他

次に、中心測量(中心杭打ち)及び縦横断測量を行います。



設計協議

構造物の概略の設計を行うとともに、必要な用地幅の検討を行います。これをもとにして、新幹線と交差する川や道路の占用等について、県や市町村等の関係者と具体的に協議します。



構造物設計

設計協議終了後、構造物の設計を確定します。



用地幅杭建植

構造物の概要及び用地測量の実施方法について説明後、用地幅杭の建植を行います。これにより、皆様の土地がどこまで該当するかわかります。



沿線のみなさまに

北海道新幹線(新青森・新函館間)の建設は、北海道の発展、東北圏との交流に大きく寄与するものと期待されています。鉄道・運輸機構は、今までの経験と技術を生かして、このような順序で工事を進めてまいります。

建設に際しては、環境対策や安全対策に万全を尽くします。地元の皆様のご協力をお願いいたします。



工事完成



工事

安全対策と環境対策に配慮して工事を進めます。



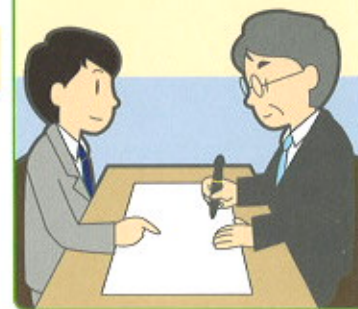
工事説明会

具体的な工事の進め方等について、説明を行います。



用地協議

用地補償は、適正妥当な補償が行われるように国の補償基準等に基づいて算出いたします。



連絡先



鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局

TEL 011-231-3456 FAX 011-251-6841